

問 (株)多古の輸出事業と町の輸出事業の方向性は

答 町では(株)多古と連携して輸出体制を構築しています

道の駅の今後のイベントは

問 道の駅多古の各種イベント事業ですが、以前に比べると、情報の発信、PRが少ないような気がします。現在ほどのように行っていますか。

産業経済課長

イベントについては、間にコロナ禍があったというのが大きな要因になるかと思えます。今後は新たなイベントの企画や町の情報発信など協力体制の下に、復活が図れば良いと思っています。また、他の団体との連携も模索できると思います。

問 以前のちよい飲みや夕涼みカフェのような企画は考えませんか。

産業経済課長

ここ数年の人材確保が難しくなってきたり、いくの努力だと思っています。ただ、赤字でもやるのかなどは慎重に検討する必要があります。

問 出品する農産物が減って、店頭に並んでいる品物が少なくなっていると思います。来られたお客様はどう思っているでしょうか。



四季折々に合わせたイベントの開催を

産業経済課長

朝から品薄というように、新鮮・朝採れが道の駅のコンセプトで、夕方には品切れになるのが他の道の駅も同じ状況です。道の駅のコンセプトに基づいた出品の在り方は、当初厳しかったかもしれませんが、(株)多古、アドバイザーと意見を交わしながら、出品のルールを変えてきています。お客様目線で品質の基準を設けることはあつてしかるべきだと思います。

問 (株)多古での輸出事業、多古町としての輸出事業の目指す方向性は何かの方向性でしょうか。

行橋 千春 議員



産業経済課長

輸出体制構築事業ということとして、国の補助金を使い、調査、テストマーケティングを行って、海外での多古町の認知度を高め、インバウンドにつながるしていきたい。成田空港が所在する町としての優位性で、インバウンド誘客に取り組み、国内でも効果が発揮できればということ、双方の取り組みになっていきます。

問 3年間で補助金が終わってしましますが、その後、この輸出事業をどのようにしていくおつもりですか。また、町だけで輸出を行うおつもりですか。

産業経済課長

3年で輸出を完了するわけではありませぬ。国策としての大きな流れの中で、町も一行政として輸出に取り組んでいます。この事業が定着してきた場合には、最終的には地域

町長

道の駅の問題についても、一人ひとりの声は本当に大切なことだと認識しています。出品者の皆様のご意見を要望という形で頂戴しておりますので、他の出品者の方々のご意見も含めて、慎重に扱ってまいりたいと考えております。

その他の質問

●農機シェアリングサービスについて



地域内業者との連携による品揃えを

議会広報特別委員会

～委員会レポート～

(7/5)

読まれる広報を



説明に熱が入る講師：議会広報サポーター芳野政明氏

千葉県自治会館で開催された町村議会広報研究会に、委員全員で参加しました。

講演のテーマは「議会広報の基本と編集」であり、住民に読まれ、伝わる議会の見える化です。特に、開かれた議会の2大要件として「住民の意見を聞き、反映させる議会」「住民に見える分かりやすい議会」をあげています。このような議会の内容を町民の皆様に正確にわかりやすく伝えると共に町民の多様な要望を掲載する広報の役割を基本に、興味を持って読んでいただける内容の編集に励んでまいります。

(議会広報特別委員長 菅澤博隆)

空港対策特別委員会

(9/9)

最先端の施設を視察

成田空港視察のため、町長、執行部、議員全員で、10月オープンの第8貨物施設を視察しました。施設内は、オートメーション化の導入により、人手不足の解消、長時間労働の解消、作業品質の均一化など、たくさんのメリットになることを肌で感じ取ることができました。

その後、A滑走路脇で空港全体を視察し、会議室で成田空港の運行状況や更なる機能強化の進捗状況などの説明を受け、役場に戻り、委員会を再開しました。1件目は、航空機騒音測定結果の報告で、今後は、令和元年度の数値に近づいてくるとの報告でした。2件目は、芝山鉄道利用者駐車場の利用状況の報告で定期利用者が増えているとの報告でした。

(空港対策特別委員会委員長 行橋千春)



ANA 第8貨物施設内ロビーにて施設概要の説明を聞く